記者発表資料

平成２５年　７月　２日
三　春　ダ　ム　管　理　所

昨年度より5割以上多くの卵を干し上げました

～　オオクチバスの卵の干し上げ結果をお知らせします　～

5月17日から6月11日まで、洪水期に備えてダムの水位を下げることを利用してオオクチバスの産卵床を干し上げる取り組みを実施しました。その結果、昨年度より5割以上多い、189地点で産卵床を干し上げることが出来ました。

１．概要

洪水期に備えてダムの水位を下げる時期が「オオクチバス」の産卵期となる「水温15度を超える」時期と重なることから、平成20年度より「水位を約2m低下させる～数日その水位を維持する」を繰り返しながら水位を低下させ（階段式水位低下）、途中水位を維持する期間にオオクチバスの産卵を促した後、孵化する前に水位を下げて産卵床を干し上げることで個体増加を防止することが出来ないかという取り組みを、本年も5月17日から6月11日にかけて実施しました。

その結果、昨年度より5割以上多い、189地点で干し上げた産卵床を確認しましたのでお知らせいたします。

これは、水位を下げた時期の水温が産卵に適しており、例年よりも産卵が多かったのではないか、と推測しています。

○別紙：オオクチバス産卵床干し上げ結果

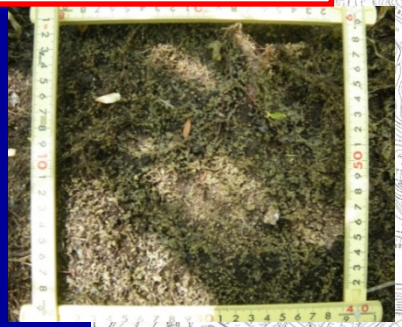
【発表記者会　郡山記者クラブ】

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　三春ダム管理所
福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
電　話　0247-62-3145
ＦＡＸ　0247-62-3170
管理所長　小山（おやま）　幸男（ゆきお）（内線２０１）
水質係長　松崎（まつざき）　厚史（あつし）（内線３５２）

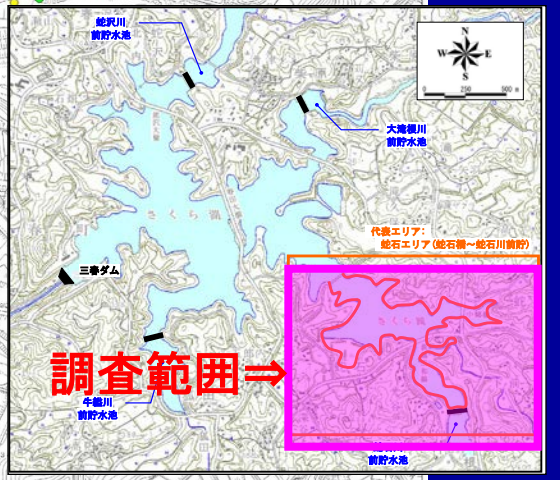
オオクチバス産卵床干し上げ結果

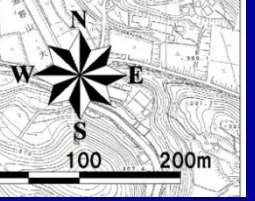
5月17日～6月11日の水位低下時期に、蛇石橋～蛇石川前貯水池周辺の湖岸を調査。
⇒昨年度より5割以上多い、189地点で干し上がった産卵床を確認しました。

干し上がった
産卵床



〈 凡 例 〉
干上げたｵｵｸﾁﾊﾞｽ産卵床
- H19（ 40地点）
- H20（ 78地点）
- H21（ 90地点）
- H22（ 93地点）
- H23（101地点）
- H24（121地点）
- H25（189地点）





■ 干し上がった産卵床の様子



拡　　大



黄色い粒が
オオクチバスの卵